

# HSK

## いちばんぼし

HSK通巻242号

昭和48年1月13日第3種郵便物認可  
平成4年6月10日発行(毎月10日)

全国膠原病友の会北海道支部

いちばんぼし No.83

もくじ

1992. 6. 10

支部だより

◇全国膠原病友の会北海道支部  
結成20周年記念大会のお知らせとお願い……………1P

◇議案書

議案 1) 平成3年度活動報告……………2P～11P

議案 2) " 決算報告……………12P

議案 3) " 会計監査報告……………13P

議案 4) 平成4年度活動方針(案)……………14P

議案 5) " 予算(案)……………15P

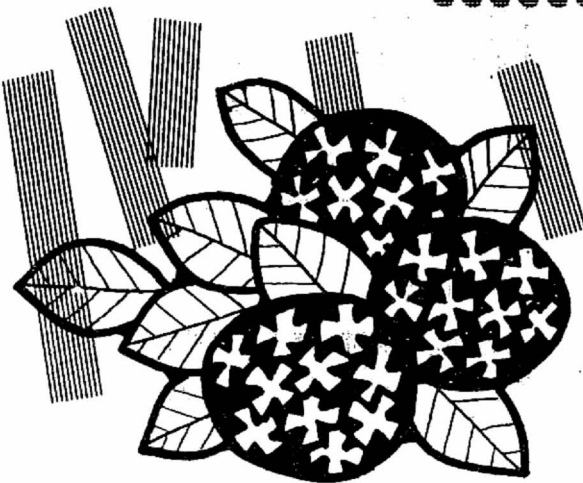
議案 6) " 役員(案)……………16P～17P

◇おたよりコーナー……………18P～19P

◇事務局からのお知らせ……………20P～21P

◇膠原病アラカルト……………22P～23P

◇あとがき



## 結成20周年記念大会のお知らせとお願い

☆—————☆

20周年記念大会もいよいよ2カ月後に迫り、記念誌の出来上がりと合わせて、焦りと不安と期待の入りまじった心境の今日この頃です。

記念大会の主なスケジュールが決まりましたのでお知らせ致します。記念大会に出来るだけ多くの皆さんに参加して頂くために、毎年6月に行なっている支部総会を今年は開催しません。

そこで今回前もって議案書をお送り致しますのでご検討の上、ご意見やご質問のある方はハガキか封書（電話では受け付けませんのでご了承下さい）で事務局までご連絡下さい。この議案書の承認等については、8月1日の全道集会終了後の友の会交流会の中で、少し時間を頂いて行ないたいと思います。

今年度の特殊な事情をご理解の上、ご協力をよろしくお願い致します。尚、記念大会・交流会の具体的な内容については、『いちばんぼし』であらためてご案内致します。

### スケジュール

9/5(土)

13:00 受付開始 記念大会：北海道難病センター

13:30 開 会 札幌市中央区南4条西10丁目

\* 記念講演 〇11(512)3233

北大病院第2内科 (札幌までの交通費は半額補助)

佐川 昭先生

友の会北海道支部前支部長

三森 礼子

\* 来賓紹介・挨拶

\* 祝電・メッセージ紹介等

15:30 閉 会

16:00 センター出発

18:30 交流会 交流会・宿泊：ホテル翠明閣

千歳市支笏湖畔 〇123(25)2131

20:30 1日目終了

(会費：12,000円、1泊2食付)

9/6(日)

由緒あるホテルで一泊した  
次の日は支笏湖畔で楽しい  
一時を過ごしましょう！

平成3年度 活 動 報 告

【4 月】

7日 第58回理事会  
13日 役員会  
20日 第1回運営委員会  
22日 第9回実態調査委員会  
27日 いちばんぼしNo.78発行



【5 月】

14日 役員会  
18日～19日 難病連総会  
23日 役員会  
25日 第18回支部総会(21名参加)  
26日 医療相談会  
(会員25名、家族2名参加)  
地区担当者会議  
(第2回運営委員会)

【6 月】

22日 支部長会議  
第60回理事会  
25日 第10回実態調査委員会



【7 月】

6日 いちばんぼしNo.79発行  
14日 第61回理事会  
23日 第3回運営委員会  
27日～28日  
第18回全道集会、分科会  
— 虻田町洞爺 —

【8 月】

20日 第4回運営委員会

【9 月】

8日 旭川地区医療講演会  
14日 第62回理事会  
24日 事業・資金委員会  
25日 第5回運営委員会



【10月】

- 10日 JPC国会請願街頭署名
- 12日～13日 北見地区連絡会10周年  
交流会（16名参加）  
相談会（13名参加）
- 15日 第6回運営委員会

【11月】

- 7日 第63回理事会
- 13日 記念誌打ち合せ
- 16日 いちばんぼしNo.80発行  
第7回運営委員会



【12月】

- 7日 第64回理事会
- 15日 チャリティクリスマス  
パーティー  
（アップル会を兼ねる）
- 26日 いちばんぼしNo.81発行



【1月】

- 14日 役員会
- 18日～19日 役員研修会
- 25日 新年会  
（アップル会を兼ねる）
- 30日 「北海道難病白書」  
発刊記念祝賀会
- 31日 事業・資金委員会  
（チャリティバザー  
実行委員会）

【2月】

- 13日 合同レク実行委員会
- 15日 いちばんぼしNo.82発行  
第8回運営委員会
- 22日 第65回理事会
- 24日 記念誌打ち合せ
- 27日 事業・資金委員会  
（チャリティバザー  
実行委員会）

【3月】

- 7日～8日 春のチャリティバザー
- 13日 「膠原病・リウマチ科」設置  
についての要望書提出  
（北大病院）
- 16日 役員会
- 17日 経理打ち合せ
- 22日 実務担当者会議
- 25日 記念誌打ち合せ

## 平成3年度の活動をふりかえって

### (1) はじめに

平成3年度の活動も、活動方針にそって無事に終えることが出来ました。中でも北見地区10周年に合わせて地方で初めて行なわれた医療相談会や、80名もの参加を得た旭川での医療講演会は、地区の運営委員や北海道難病連旭川支部のご協力によるものと、心から感謝する次第です。また難病連の行事にも積極的に参加して、他の疾病団体との交流や連帯の強化に努めてきました。ただ一昨年より機会があるごとに述べてきましたが、運営委員の少ないことが少ない運営委員の大きな負担となってきています。私たちの活動は、病気をもった私たちがやらなければいけないこと、そして私たちがやってこそ本当の活動といえることを、ほんの少しだけ考えてみて欲しいと思います。

5月23日膠原病友の会の支部長会議が行なわれる日の朝の朝日新聞に、難病の子供の治療費に一部自己負担を導入するという、厚生省の検討会がまとめた報告書のことが載っていました。それによると、親のニーズが治療費の補助より在宅対策や長期入院児童の対策などを求めているための見直しだということです。このいっけん親のニーズに合わせた制度見直しのように見える内容が、実は健康保険本人の一部自己負担導入や老人保険の一部自己負担金の度々の値上がりのように、必ず精神的な負担以上に経済的な負担として、重くのしかかってくるのが十分に考えられます。と同時に、私たちにも「ついにきたか」という思いでうけとめる日が必ずきます。

私たちが『特定疾患』と呼んでいるこの制度は、法律で決められているものではなく、毎年大蔵省で予算化されて『特定疾患治療研究事業』として実施されている『実施要綱』でしかありません。私たちが治療研究に協力することで、自己負担分が国から支払われているわけで、患者数がかなり多いSLEなどは、予算の中からはずされることが十分に考えられます。はずされないとしても一部自己負担や外来のみ自己負担などの見直しがされてくることが予想されます。

北海道難病連では、難病対策についてはもはや個別での要望では社会の状況に合わない面もあり、『総合的な難病対策』の実現が必要であるとの点では、厚生省の担当者との間でも認識を一致させることができたと言っています。

今年結成20周年という大きな節目の時期を迎えるにあたり、これからの患者会活動がどうあるべきかを、会員一人ひとりが真剣に考えることが必要な時

にきていると思います。そして差別のない本当の意味での平等と文化的な生活が保障される社会の実現をめざして、多くの仲間と手をつなぎ、活動を前進させましょう。

(2) 医療講演会・相談会

開催日	開催場所	テーマ	講師名	参加人数
5/26	札幌	医療相談会  3つのグループに分かれて質疑応答	北大病院第2内科 藤咲 淳先生 勤医協中央病院内科 中井 秀紀先生 札幌社会保険総合病院内科 向井 正也先生	27名
7/28	虻田町 洞爺	『膠原病の療養指導について』	勤医協中央病院内科 中井 秀紀先生	22名
9/8	旭川	『膠原病の合併症と治療の最新情報』	勤医協丘珠病院内科 田村 裕昭先生	80名
9/29	北見	医療相談会 (北見地区連絡会主催)  3つのグループに分かれて質疑応答	北大病院第2内科 佐川 昭先生 北見赤十字病院内科 種市 幸二先生 酒井 勲先生	13名

(3) 財政活動

		平成3年度還元金	平成2年度還元金
運営協力会		93,500円	75,750円
募金箱		9,540円	3,614円
物 品 販 売	お正月飾り	27,483円	40,624円
	花火	43,100円	37,590円
	ビール券	13,000円	14,650円
	乾パン・シャンパー・その他	6,863円	24,519円
	雑貨	8,870円	4,100円
合	計	202,356円	200,847円

上記のほかの還元金として、全道集会協賛広告18,000円、贈答館（お歳暮など）2,119円などを含め総計は222,475円でした。

(4) 機関紙について

平成3年	4月10日	NO. 78
	7月10日	NO. 79
	11月10日	NO. 80
	12月10日	NO. 81
平成4年	2月10日	NO. 82

(5) 国会請願署名と募金運動

	平成3年度	昭和63年度	平成元年度	平成2年度
請願署名数	247名	393名	746名	497名
募金額	38812円	34243円	66022円	51300円
還元金	7662円	6848円	12004円	10260円

(6) 運営委員会 (活動報告参照)

(7) 会員の状況 (平成4年3月現在)

会員数 272名 (男 23名, 女 249名)

	SLE	強皮症	皮膚 筋炎	多発性 筋炎	SS	SLE SS	その他	定期 購読
札幌市内	51	9	4	3	13	2	5	2
石狩	5	3		1			1	
後志	4	2		1	2		4	
胆振	8			1				1
上川	18	5		1	4		1	
空知	12	2		1	6	1	2	1
十勝	17	1	1		1	1	1	
北見・網走	21	5	1	3	1		3	
釧路	7			1	1	1	2	
渡島	12		1	1	1			
桧山	1							
日高	1				1			
宗谷	2							
根室	2	1			1			
留萌	1							
道外	3							
合計	165	28	7	13	31	5	19	4

<その他の内訳>

強皮症・多発性筋炎・皮膚筋炎・・・4名

SS・橋本病・・・2名

慢性関節リウマチ・・・2名

強皮症・多発性筋炎・・・1名

強皮症・皮膚筋炎・・・1名

SLE・皮膚筋炎・・・1名

MCTD・SS・・・1名

不明・・・7名



# 各地区の活動報告と方針

## 旭川地区

□市川 利一

### 《平成3年度活動報告》

- |           |                 |         |
|-----------|-----------------|---------|
| 4月10日     | 平成2年活動報告、収支決算報告 | (10名参加) |
| 5月11日     | 花見 -上川エスポワールの丘- | (8名参加)  |
| 5月25日~26日 | 支部総会 -札幌-       | (2名参加)  |
| 6月8日      | 野村さん送別会         | (12名参加) |
| 7月7日      | 旭川身体障害者体育祭      | (2名参加)  |
| 7月27日~28日 | 全道集会 -洞爺-       | (5名参加)  |
| 9月8日      | 医療講演会           | (79名参加) |
| 10月30日    | 観楓会             | (13名参加) |
| 12月15日    | 旭川地区クリスマスパーティー  | (4名参加)  |
| 1月30日     | 新年会             | (17名参加) |

### 《平成4年度活動方針》

- |     |                    |
|-----|--------------------|
| 4月  | 平成4年活動計画、収支決算報告    |
| 5月  | 花見                 |
| 7月  | 全道集会<br>旭川身体障害者体育祭 |
| 9月  | 友の会20周年記念大会        |
| 10月 | 観楓会                |
| 12月 | 旭川地区クリスマスパーティー     |
| 1月  | 新年会                |

## 函館地区

□扇田 裕子

昨年は私の膝の調子が悪く、役員としての活動は何も出来なかった事を会員の皆様には申し訳なく思っています。

お陰様で足の調子も良くなり、今年は少し出来るかと思えます。

今年は友の会20周年ということで、それに向けて近々交流会をもちたいと思

います。その中で、皆が望んでいる事は何なのか…を参考に具体的に方針を決めて行きたいと考えています。

又、会の活動にとっても協力的な会員の方もいてくれるので、私一人の役員ではなく、活動でもない、みんなでやれる友の会づくりの体制を作って行きたいと思っています。

帯 広 地 区

□館村 洋子

#### 《平成3年度活動報告》

5月11日 親睦会（12名出席）

- ◎全道集会参加の件や、今年度の活動内容について話し合う。  
近々結婚される会員へお祝いの寄せ書きをする。特に、外の若い会員の方々には励みになったのではと思います。

7月26日～27日 全道集会参加(3名)

9月27日 親睦会(9名出席)

- ◎食事をしながら、それぞれの近況報告や病状等を話し合い、いろいろ意見交換が出来ました。

12月 1日 ふれあい広場（帯広福社会館）にてバザー

12月 4日 忘年会の集い（10名出席）

- ◎新年会を兼ねて、ゲームやプレゼント交換等、楽しいひとときを過ごしました。

3月18日 年度末会合(9名出席)

- ◎ミニ便り「あゆみ」3号配布、新年度役員選出、その他

#### 《平成4年度活動方針》

○隔月毎に会合を持つ

親睦会、勉強会、戸外でのレクリエーション等

○誕生カード、記念品の発送予定

○ミニ便り「あゆみ」作成

この「あゆみ」や会合での話し合い等を通じて、会員相互のつながりをさらに深め、励まし合いながら、前向きに病気と付き合っていけたらと思っています。

北見地区

□加藤 禎子

《平成3年度活動報告》

- 6月30日 網走での交流会 -喫茶店きょうほく- (10名出席)  
9月 1日 難病連北見支部合同レクリエーション参加  
-北見市総合福祉会館- (6名出席)  
9月 7日,8日 ふれあい広場での氷水販売  
-北見市総合福祉会館- (10名出席、日赤看護学生Vo17名)  
10月12日~13日 北見地区10周年交流会、医療相談会  
-自然休養村センター- (16名出席)  
3月 7日 新年会、総会 -アサヒビール園JR北見店- (10名出席)  
◎誕生カード、プレゼント(ハンカチ)を贈る

《平成4年度活動方針》

1. 誕生カードを贈る
2. 難病連北見支部合同レクリエーション参加
3. ふれあい広場参加
4. 交流会(遠軽の予定)
5. 総会

◎今年度から地区担当加藤に、会員の連絡文書等を瀬戸愛子さんが担当する事になりました。又、誕生カードにつきましては、一昨年度より信本和美さんが担当しています。

名寄地区

□藤田 郁子

《平成3年度活動報告》

- 6月19日 懇親会 (7名参加)  
7月24日 " (5名参加)  
9月 8日 旭川医療講演会(3名参加)  
9月11日 懇親会 (5名参加)  
1月 温泉にて新年会(4名参加)

《平成4年度活動方針》

6月に望湖台(風連)にて花見を予定。その後、2カ月に1度の割で集まりたいと思っています。昨年は個人的な(私)都合で思うように集まれ

ず、皆様に迷惑をかけすまなかったと思っています。今年も元気で皆でがんばりたいと思っています。よろしくお願いいたします。

## 札幌地区

□安田 史子

### 《平成3年度活動報告》

札幌地区の連絡担当者がいないまま、活動らしい活動もできない1年でした

- 12/15(日) 難病連札幌地区主催「チャリティクリスマスパーティー  
(忘年会兼ねる、10名参加)
- 1/25(土) 新年会(道友会と合同、14名参加)

### 《平成4年度活動方針》

他の地区のようにきちんと札幌地区として独立できないことが、このように活動を少なくさせたのかもしれませんが。集まりやすいようで、なかなかみんなが集まってくれないということもあり、何か計画しても参加する顔ぶれが決まってしまう現状です。自分の生活が優先することは当然のことですが、そのほかのことをする時間が全くないなんてことはあり得ないと思います。その少しの時間を友の会の活動に割いてくれたら、もっと活動も活発になるのではないかと思います。

何もしないことは簡単ですし楽です。しかし、それは誰かに負担をかけていることになるのです。同じ病気の人が集まっている会で、ただお客さんになっているのでは会に入っている意味もないと思います。皆が少しずつ力を出し合って会を活動させていくことが基本だと思いますので、せめて札幌地区の活動がそうありたいと思います。一人にかかる負担をみんなで分担しましょう。具体的な計画はたてられない現状です。




収 入		支 出	
道費補助金	779,000	事業費	1,492,357
会 費	1,070,400	<会議費>	140,810
寄 付 金	236,788	難病連参加費	22,200
事業収入	86,316	役員会費	53,611
その他の事業収入	60,019	中央会議費	64,999
参加費収入	102,500	<医療講演会>	161,041
協力会還元金	93,500	<患者大会 >	281,651
募金箱還元金	9,540	<機 関 紙>	181,724
署名募金還元金	7,662	<地区育成費>	261,905
受取利息	3,181	<相談員補助>	60,000
雑 収 入	8,000	<活 動 費>	253,937
積立金取崩収入	200,000	<全道集会 >	81,249
前期繰越金	76,990	<指導パンフ>	70,040
※事業収入内訳		負 担 金	840,500
○お正月飾り	27,483円	全国会負担金	546,000
○花火	43,100円	維持会費	293,000
○雑貨	15,733円	HSK負担金	1,500
(乾パン、シャンプー他)		維持運営費	155,958
※次期繰越金内訳		通信費	73,327
現金	5,680円	事務用品費	19,982
銀行預金	234,164円	事務局費	57,179
郵便振替	64,037円	資料費	5,470
預り金	△14,700円 (本部会費)	次期繰越金	245,081
	△44,100円 (平成4年度 支部会費)		
合 計	2,733,896	合 計	2,733,896


平成3年度 会計 監査 報告

平成3年度における全国膠原病友の会北海道支部の会計を、帳簿と領収書を照合した結果、適正であることを報告します。

平成4年4月20日

〈会計監査〉

氏名 渡辺 愛子 

氏名 秋 しのぶ子 

平成4年度 活動方針(案)

1. 膠原病の原因究明と治療法の確立要望
2. 札幌等の専門病院に受診する地方在住者のための通院費助成を要請
3. 膠原病に関する正しい知識の普及  
〈医療講演会〉函館-10月予定
4. 北海道難病連の行事参加
  - 札幌地区合同レクリエーション 6月28日(日)
  - 第19回全道集会 8月1日(土)～2日(日)札幌開催
  - チャリティクリスマスパーティー 12月20日(日)
  - チャリティバザー 平成5年3月6日(土)～7日(日)
5. 機関紙「いちばんぼし」の発行(5回、No.83～No.87)  
6月10日、7月10日、8月10日、10月10日、(平成5年)2月10日
6. 地域活動の推進  
函館地区の医療講演会
7. 会員どうしの親睦を図る
  - 第19回全道集会、交流会 8月1日(土) -札幌-
  - 結成20周年記念大会、交流会 9月5日(土)～6日(日) -支笏湖-
8. 資金活動に取り組み、自己財源の確保に努める
  - ①協力会員の拡大
  - ②募金箱の設置普及と回収
  - ③物品販売の協力
9. 結成20周年記念誌(いちばんぼしNo.85)の発行と記念大会の開催

## 議案5

## 平成4年度 予 算 (案)

収 入		支 出	
道費補助金	785,000	事業費	2,675,000
会 費	1,092,000	<会議費>	180,000
寄 付 金	170,000	難病連参加費	30,000
参加費収入	420,000	役員会費	70,000
協力会還元金	100,000	中央会議費	80,000
募金箱還元金	7,000	<医療講演会>	125,000
署名募金還元金	10,000	<患者 大会>	570,000
販売事業収入	100,000	<全道集会参加費>	60,000
その他の事業収入	50,000	<機 関 紙>	150,000
受取利息収入	919	<記念誌 特別会計>	1,100,000
記念誌売り上げ	720,000	<地区育成費>	245,000
前期繰越金	245,081	<相談員補助>	65,000
		<活 動 費>	180,000
		負 担 金	827,800
		全国会負担金	531,300
		維持会費	295,000
		HSK負担金	1,500
		維持運営費	197,200
		事務局費	80,000
		通信費	70,000
		事務用品費	25,000
		資料費	20,000
		雑 費	2,200
合 計	3,700,000	合 計	3,700,000



## 議案6

## 平成4年度 役員 (案)

	氏 名	住 所	電 話
支部長	小寺千明 機関紙編集担当		
事務局	安田史子		
会 計	長谷川道子	同 上	同 上
監 査	渡辺愛子 秋山のぶ子		
運営委員	三森礼子		
	大沢久子		
	滝本はるよ		
	札幌地区担当	未 定	
	市川利一 旭川地区担当		
	扇田裕子 函館地区担当		
	館村洋子 帯広地区担当		
	荒尾みや子		
	藤田浩子		
	加藤禎子 北見地区担当		
渡部小夜子 釧路地区担当			

鈴木裕子		
藤田郁子 名寄地区担当		

(財)北海道鶏病連 役員

	氏 名	住 所	電 話
代表理事	三森礼子		
理 事	小寺千明		
評議員	安田史子		
	大沢久子		
	滝本はるよ		
支部担当	市川利一		
	扇田裕子		
	荒尾みや子		
	藤田浩子		
	加藤禎子		
	鈴木裕子		



# おたよりコーナー



20周年記念誌の原稿を依頼されて

□ 荒尾 みや子

記念誌作りご苦労様です。20周年を迎えることも大変なことなんですね。お察し致します。

さて、原稿ですがさっそく送らせて頂きます。

この間、「難病(特定疾患)とは」について書くことがあり、いちばんぼし15周年記念誌も参考にさせて頂きました。大切なことがちゃんと載っていて、どれを見ても、何回読んでも、いいなあと感じています。この間の時も改めてすごいと感動……そんないちばんぼしです。なおさら心配になります。せっかくの記念誌なのに、この程度のものしか書けなくて申し訳なく思います。これじゃダメ!!と言われても書き直すことはできないのですが、ヘンなところや多過ぎたらどこでもはぶいて下さい。どうぞよろしくお願い致します。

それでは、秋の記念式典を楽しみにしております。追い込みで忙しい毎日のことと思いますが、どうぞお体大切になさって下さい。



帯広地区の近況報告にかえて

□ 荒尾 みや子

先日、3月18日に行なわれた集りに久しぶりに出席でき、集りに来れなかった方の様子なども聞くことができました。

会えばワイワイと話しにつきなく、明るさしか見えませんが実際は皆さんそれぞれに大変なようです。いろいろな話しを聞いているうちに、なんだかずっしりときてしまいました。でも皆さん、さすが病人のプロですね。それぞれに工夫しながら乗

り越えているようでした。

それと、後日代表からの報告があるかと思いますが、今年度お世話いただいた山本さん、今井さんに代り、新年度代表を館村さん、家内さんが引き受けて下さることとなりました。新しい企画もありそうで、また楽しい会になりそうです。

帯広では1~2年ごとに世話人を交代していますが、それが良い結果になっているのかなと思います。人まかせにすることなく無理しないでね...みんなで助け合って行こうね...と、皆んなで作る友の会という雰囲気がいっぱいです。今年度のミニ便り3号もでき、活動が少しずつ形になってきて、それぞれの中に次はこんなことしてみたいね...という欲も出てきました。集りに行くと、皆さん生き生きして楽しいです。といった帯広です。



⑧ ミニ便り3号拝見させていただきました。原稿の多さに驚くやら、うらやましいやら...友の会でも見習いたいものです。

### 会費納入のお願い

7月で会費が切れる方に、郵便振替用紙を同封

いたしました。よろしくお願ひします。

友の会の会費は、**4,200円**(年間)です。





## 事務局からのお知らせ

5月31日現在

### ★ご寄付いただきました

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| ◦宮田 勤様 10,000円  | ◦伊藤 加代子様 1,048円 |
| ◦平井 園子様 800円    | ◦扇田 裕子様 5,000円  |
| ◦内海 厚子様 800円    | ◦高橋 栄子様 1,600円  |
| ◦種市 幸二様 5,800円  | ◦輪島 紀子様 800円    |
| ◦安孫子 淳子様 2,670円 | ◦荒木 マツ子様 5,800円 |

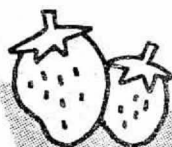
ありがとうございました



### ★新しく入会された方達です

- 沼田 ミエ (SLE. S13. 1. 31生)
- 埋田 晴子 (SLE. S39. 9. 30生)
- 後藤 美幸 (SLE. S38. 8. 28生)
- 後藤 紀美恵 (SLE. S46. 8. 14生)
- 千葉 千代子

よろしくお願ひします



★住所変更された方達です

- 関口 朝子
- 丸山 清美 (旧姓 鈴木)
- 田中 美耶子
- 山田 美枝子
- 湯浅 浩子
- 佐藤 道代
- 瀬戸 愛子
- 村田 幸枝
- 上野 めぐみ
- 重本 雅江



住所変更された方は、電話番号も忘れずに  
お知らせ下さい。



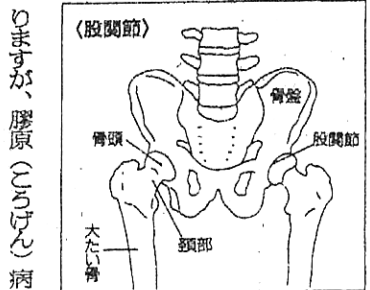
### 大たい骨頭壊死

三十歳の娘。二年前、腎臓移植をしてから、毎日、免疫抑制剤のシクロスポリンとステロイド剤（プレドニソロン）を飲んでいました。一年前、両方の太ももの付け根が痛くなり、両大たい骨頭（こつこ）壊死（えし）と診断されました。松葉づえに頼る生活です。免疫抑制剤の副作用でしょうか。回復の見込みはありますか。どんな治療法があるか、教えてください。（秋田・M）

問 どんな病気ですか。  
答 大たい骨と骨盤が接しているところが股関節です。その大たい骨の先端の球状をした骨頭が死んでしまう病気で、骨頭はもとも血液の循環が悪く、何らかの原因で血液の循環がさらに悪くなると、骨の細胞が死んでしまうのです。骨頭は次第につぶれて変形し、関節の接合部が合わ

答える人  
北里大助教授  
(整形外科)

満盛 盛憲さん



### ステロイド剤服用で多い症例

放っておくと、股関節自身の動きがだめになってしまいます。  
問 原因は何ですか。  
答 昔からわかっているのは、大たい骨の頭（けい）部骨折などのけがで、血液の循環が悪くなるケースです。しかし、一九六〇年代から原因がはっきりしないものが急激に増えてきます。まったくの原因不明もあ

りませんが、膠原（こげん）病などの病気が原因で大量のステロイド剤を飲んでいたり、肝臓に障害が出るほどアルコールを飲む人に多く見られることから、ステロイド剤やアルコールが原因の一つではと考えられています。  
問 質問者の場合、ステロイド剤が原因でしょうか。  
答 臓器移植を受けて、拒

絶反応を抑えるために、免疫抑制剤を飲み続けなくてはなりません。この方の場合も、ステロイド剤が原因である可能性はあります。シクロスポリンが登場する前は、ステロイド剤の使用量は今の二倍以上もあり、腎臓移植のあと、大たい骨頭壊死になる人は二〇年前後もいました。シクロスポリンと併用するようになってからは、一〇％以下に減っています。  
問 治療法は。  
答 骨頭の壊死がどこまで進んでいるかによって、治療法も変わってきます。まず、壊死がそれほど進んでおらず、骨頭がまだ球形を保っている場合は、自分の体の他の骨を移植する方

法で骨切の術が考えられます。骨移植は、壊死になった部分を取り去り、血液の循環のある骨盤や大たい骨の一部を移植して、健全な骨頭の再生を目指す方法です。骨を移すだけでは壊死になった部分の陥没を防ぎきれないので、崩れる天井を支える柱のような骨を入れることで、優れた成績が得られるようになりました。私たちの教室で開発したこの方法は壊死の範囲が広い場合にも使え、骨頭が再生すると、日常生活への支障もなくなります。  
問 骨切の術とは。  
答 壊死部を含む骨頭を回転させて健全な部分で体重を支え、壊死部には体重がかからないようにして、自然に治るのをねらった方法です。  
問 もし骨頭の陥没がひどければ、どうするのですか。  
答 人工骨頭や人工股関節で

置き換える手術をする以外ありません。ただ、ステロイド剤を使っている人は、ふつうの人より骨が弱くなっているため、接合部がゆるむといったトラブルが少なくありません。  
問 質問の方は当面、どうすればいいのでしょうか。  
答 痛みが出てからかなり時間がかかっていますので、現在の骨頭の状態をなるべく早く正確につかみ、もし骨移植や骨切の術が可能なら、早急に手術すべきです。骨頭の陥没がひどくて手術が無理な場合は、痛みが強くなければ、今の生活をしばらく続け、痛みなどのために日常生活がどうしても不自由になったら、人工骨頭や人工股関節への置換を試みるのがいいでしょう。接合部のゆるみといったトラブルを避けるためにも、人工物への置換はなるべく先に延ばした方がいいのです。



### 微生物の付着が心配

#### 吸収率では牛乳が一番

#### 卵の殻を食べるとカルシウム取れる？

「卵の殻を食べるとカルシウムが取れる」というのは本当ですか。こんな面白い合戦が「お茶の間ほっと」に寄せられた。結構く言い伝えられているようで、相談者も「乾物を粉砕する市販の調理器具にも『卵の殻は酢に入れ、沈殿物は使わないように』と書いてある」という。骨粗しょう症が注目され、厚生省の国民栄養調査でカルシウムの摂取不足が指摘された。卵の殻で摂取できる手帳だが、個人差はあるが運動量が少ない人や高齢の、特に女性には吸収率が低くなる。日品はたくさんあります」と、新山さんはいう。天使女子短大の原美智子教授は「面白いのは、適度な運動で吸収しやすい牛乳」という。成人が一日に必要なカルシウムは約五百ミリグラムだが、牛乳一本には二百ミリグラムが含まれ、原さんは「牛乳が苦手な人は、ヨーグルトやチーズにカルシウムを多く含むものを選んでみる」と話している。

「非常に不足しているのは、卵の殻からカルシウムが体に取り込まれることもあてはまらない。ただ、微生物の付着の可能性が心配だ。理想は普通の食品から摂取すること」と話すのは、道立衛生研究所食品科学部栄養化学科の中山和久氏。卵の殻のカルシウム吸収率は、炭酸カルシウムは水に溶け、胃酸で可溶性牛乳と他の食品をいろいろ

取不足が指摘された。卵の殻で摂取できる手帳だが、個人差はあるが運動量が少ない人や高齢の、特に女性には吸収率が低くなる。日品はたくさんあります」と、新山さんはいう。天使女子短大の原美智子教授は「面白いのは、適度な運動で吸収しやすい牛乳」という。成人が一日に必要なカルシウムは約五百ミリグラムだが、牛乳一本には二百ミリグラムが含まれ、原さんは「牛乳が苦手な人は、ヨーグルトやチーズにカルシウムを多く含むものを選んでみる」と話している。

「非常に不足しているのは、卵の殻からカルシウムが体に取り込まれることもあてはまらない。ただ、微生物の付着の可能性が心配だ。理想は普通の食品から摂取すること」と話すのは、道立衛生研究所食品科学部栄養化学科の中山和久氏。卵の殻のカルシウム吸収率は、炭酸カルシウムは水に溶け、胃酸で可溶性牛乳と他の食品をいろいろ

「非常に不足しているのは、卵の殻からカルシウムが体に取り込まれることもあてはまらない。ただ、微生物の付着の可能性が心配だ。理想は普通の食品から摂取すること」と話すのは、道立衛生研究所食品科学部栄養化学科の中山和久氏。卵の殻のカルシウム吸収率は、炭酸カルシウムは水に溶け、胃酸で可溶性牛乳と他の食品をいろいろ



◆老化や閉経ばかりが原因じゃない◆

# 3分の1は別の病気から

## 札幌大・松山助手が調査

女性ホルモンの減少で起きると言われている。しかし症状を訴える患者の三人に一人は他の病気が原因で、骨のカルシウム量、つまり骨塩量が減っていることが、札幌医大整形外科の松山敏勝助手の調査で分かった。従来から内科的診断も必要と言われている病気が、調査では重症の骨腫瘍(しゅよう)が見つかった患者もあり、正確な原因疾患を突き止める重要性を改めて示している。



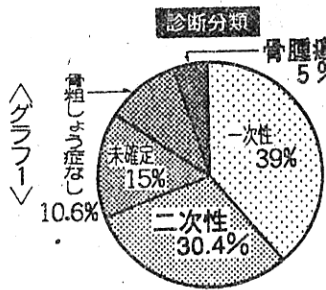
松山 敏勝助手

松山助手が調べたのは、  
同科外来のほか札幌と恵庭 病気が別では性ホルモン異常  
のカルシウム流出を抑える

## 多い性ホルモン異常

胃腸障害の  
ケースも 内科含めた診断を

の病院二カ所で、一九九〇(四十人)が最も多く、次  
年六月から一九九二年十二いで甲状腺(せん)機能異  
う症の疑いで診察  
を受けた患者六百  
十五人。  
原因別の診断分  
類(グラフ1)で、  
他に病気がなく、  
若い時からのカル  
シウム不足が老化  
や閉経などで、骨



の病院二カ所で、一九九〇(四十人)が最も多く、次  
年六月から一九九二年十二いで甲状腺(せん)機能異  
う症の疑いで診察  
を受けた患者六百  
十五人。  
原因別の診断分  
類(グラフ1)で、  
他に病気がなく、  
若い時からのカル  
シウム不足が老化  
や閉経などで、骨

含まれていた。

ため、やはり骨塩量が減つ

一方、甲状腺ホルモンは  
骨がカルシウムを取り入れ  
代謝を促進する働きを持  
つ。甲状腺機能の異常でホ  
ルモンのバランスが崩れる

女性ホルモンの減少は閉  
経後、急激に減るため一次  
性の原因となる。しかし、  
腫瘍などでホルモンを分泌  
する卵巣を摘出してしま  
うと、閉経前でも女性ホル  
モンの分泌が止まり、骨塩  
減少の原因になるとい  
い、調査でも卵巣摘出の女性が

1992.2.5 北海道新聞

1992.3.27北海道医療新聞

## 膠原病・リウマチ科専門外来

# 北大病院に常設を陳情

道難病連など

(財)北海道難病連(三森 千明支部長)(社)日本リウ  
マチ友の会北海道支部(重  
病友の会北海道支部(小寺  
延洋子支部長)は十三日、

北大医学部の田辺達三支部  
長、同大医学部付属病院の  
宮崎保院長に対し、膠原病

現在道内では、リウマチ  
患者は約十七万人、膠原病  
患者は四十万人と推定  
されている。道難病連の会  
員ではリウマチ友の会、百  
七十七人、膠原病友の会、  
特定疾患受給者は膠原病だ  
けで三千二百六十八人(平成  
二年)とされており、多  
くの患者が専門医の指導を  
希望している。

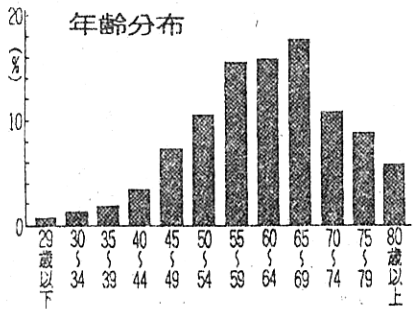
さらに道外の大学病院な  
どではすでに同科専門外来  
を設置している施設もあ  
り、また岡山県の倉敷成人  
病センター・南くらしき病  
院ではリウマチ・膠原病セ  
ンターを設置し約五百人の  
患者に対応、同疾患に対し  
積極的に取り組んでいる施  
設もある。

道難病連は、このような  
現状を踏まえた上で、北大  
医学部長、同付属病院院長  
に対し陳情、同科専門外来  
の早期設置を要請、近く大学  
側から回答される見込み。

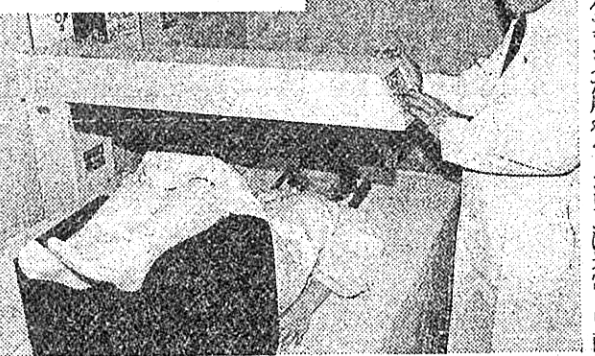
## カルシウム不足で骨ホキリ 骨粗しょう症

### 45歳から急増 女性が8割強

診断、治療  
は 進歩



<グラフ2>



2種類のエックス線で全身の骨密度を測る装置  
—札幌市内の病院

体内のカルシウムの九  
%は骨に含まれている。吸  
収と成長という代謝で、一  
日五百mgが骨を出入りし  
ており、約五年で全身の  
骨のカルシウムが入れ替わ  
る、つまり骨が生まれ変わ  
っている。

骨粗しょう症はこの代謝  
のバランスが崩れ、カルシ  
ウムが減って起る病気。ち  
よっとしたことで骨折し  
骨がもろくなり背中から腰  
にかけて、だるさや痛みを感  
じたり、腰が曲がるほか、

骨のカルシウム量は正常  
を越え、その後は減少して  
いく。このため若い時から

カルシウム不足  
の病気で骨の代  
謝がうまくいか  
ず、年齢とともに発症  
六十代にかけて特に多い  
(グラフ2参照)。また閉

今回の調査では患者の平  
均年齢は六十一・八歳で、  
年齢分布も四十五歳から急  
激に増え、五十代後半から  
六十代にかけて特に多い  
ことがわかった。

今回の調査では患者の平  
均年齢は六十一・八歳で、  
年齢分布も四十五歳から急  
激に増え、五十代後半から  
六十代にかけて特に多い  
ことがわかった。



## ★あとかぎ

北海道にもやっとさわやかな初夏の季節を迎えていますが、皆さんいかがお過ごしですか。

度々、お知らせしてきました友の会道支部20周年記念行事である記念誌の発刊と記念大会も、いよいよ具体的な内容で準備を開始しました。記念誌は8月末の発刊を予定していて、記念大会でお渡し出来ると思います。

大会を成功させるために、皆様のご協力をお願い致します。そのためにも十分な体調で、より多くの皆さんの参加を期待しています。



~~~~~  
〈編集人〉 全国膠原病友の会北海道支部

編集責任者 小寺 千明

〒064 札幌市中央区南 4条西10丁目

北海道難病センター内 ☎(011)512-3233

〈発行人〉 北海道身体障害者団体定期刊行物協会  
札幌市北区北13条西1丁目 神原義郎

昭和48年1月13日第3種郵便物認可 HSK通巻242号 100円  
いちばんぼしNo.83 平成4年6月10日発行(毎月1回10発行)

~~~~~